

イノベーション拠点に

崇城大IoT・AIセンターと、九州で書店を展開するニューコ・ワン、一般社団法人SCBラボ（いずれも熊本市）の3者は16日、蔦屋書店熊本三年坂（同市中



教育、人材輩出 崇城大など連携協定

中央区）を、イノベーション創出の活動拠点とするための包括連携協定を結んだ。

同大の星合隆成センター長は、異なる見方や考え方を組み合わせ、新しい発想や価値観を生み出す熊本発のイノベーションの創発に取り組んでおり、ニューコ・ワンが協力を依頼した。

同書店では、イノベーションに取り組む人を取り上げ、新たな発想の基になっている物事などを理論的に解説するイベントを定期的に開催。イノベーションに関する図書コーナーも設ける計画だ。

「蔦屋書店をイノベーション教育や人材輩出の拠点にして、熊本の発展につなげたい」と星合センター長。ニューコ・ワンの塩原礼貴社長は、書店は地域コミュニティが生まれる場所になるべきだとして「他の店舗にも取り組みを広げていきたい」と話した。

（飛松佐和子）

連携協定を結んだ崇城大IoTセンターの星合隆成センター長（左）とニューコ・ワンの塩原礼貴社長

16日、熊本市西区